

認証に係る試験結果・測定器等

1. 一般事項

型式又は名称	PB-N0110	点検年月日	2019/12/17
製造番号	No.9	点検場所	株式会社日立国際電気 東京事業所内
電波の型式、周波数及び空中線電力（注1）	電波の型式：F1D 周波数：426.2625 ～ 426.8375（25kHz間隔 24波） 空中線電力：0.01W	備考	測定結果を示す写真は別紙に示す。 実施した試験法：総務大臣が告示した試験法（平成16年総務省告示第88号別表第36）

2. 測定器等

名称	型式	製造番号	製造者名	較正年月日	較正機関（注2）	備考
シグナルアナライザ	N9020A	MY49100718	Agilent	2019/7/11 （有効期限：2020/7/31）	HYSエンジニアリングサービス	電波法第24条の2第4項第2号ニによる
パワーメータ	437B	3125U12686	hp	2019/5/10 （有効期限：2020/5/31）	HYSエンジニアリングサービス	電波法第24条の2第4項第2号ニによる
パワーセンサ	8481A	3318A87501	hp	2019/5/10 （有効期限：2020/5/31）	HYSエンジニアリングサービス	電波法第24条の2第4項第2号ニによる

3. 測定結果

試験機器の状態	試験項目（注3）	単位	常圧+10% 3.3V			常圧3.0V			常圧-10% 2.7V			備考
			426.2625	426.5375	426.8375	426.2625	426.5375	426.8375	426.2625	426.5375	426.8375	
常温（+25℃，50％）	周波数（測定値）	MHz	426.26241	426.53741	426.83740	426.26241	426.53741	426.83740	426.26240	426.53741	426.83740	無変調による測定
	（偏差）	ppm	-0.21	-0.21	-0.23	-0.21	-0.21	-0.23	-0.23	-0.21	-0.23	
	占有周波数帯幅	kHz	9.0	9.0	9.2	8.9	9.1	9.2	9.0	9.1	9.2	
	帯域外領域のスプリアス発射	μW	0.0190	0.0207	0.0194	0.0181	0.0200	0.0194	0.0185	0.0230	0.0198	隣接チャネル漏洩電力の測定結果による
		MHz	426.23750	426.51250	426.81250	426.23750	426.51250	426.81250	426.28750	426.51250	426.81250	
	スプリアス領域の不要発射（近傍）	μW	0.0365	0.0416	0.0526	0.0315	0.0332	0.0342	0.0443	0.0446	0.0702	
		MHz	426.33125	426.65625	426.76719	426.38281	426.47188	426.76250	426.33281	426.46406	426.77031	
	（その他）	μW	0.0054	0.0047	0.0055	0.0057	0.0064	0.0055	0.0064	0.0053	0.0053	
		MHz	2556.66667	2560.00000	2560.00000	2556.66667	2560.00000	2560.00000	2556.66667	2560.00000	2560.00000	
	空中線電力（測定値）	mW	9.93	9.91	9.91	9.93	9.91	9.91	9.93	9.91	9.91	
	（偏差）	%	-0.7	-0.9	-0.9	-0.7	-0.9	-0.9	-0.7	-0.9	-0.9	
	隣接チャネル漏えい電力（下側）	dB	-57.9	-57.5	-57.8	-58.1	-57.7	-57.8	-58.0	-57.1	-57.1	
	（上側）	dB	-58.1	-57.8	-58.1	-58.3	-57.8	-58.1	-58.0	-57.4	-57.9	
	送信時間制御装置	良/否	良	良	良	良	良	良	良	良	良	
	混信防止機能	良/否	良	良	良	良	良	良	良	良	良	

- 注1 周波数帯ごとに記載して下さい。
- 2 NICT及びTELEC以外の機関において較正した場合には、備考欄に電波法第24条の2第4項第2号のいずれに該当するか（ロ、ハ、ニ）を記載して下さい。
- 3 試験項目、単位は特定無線設備の種別に合わせて修正して下さい。
- 4 試験周波数（各周波数帯の上中下の周波数）を記載して下さい。